

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：体育振興費

事業名 オリンピック・パラリンピック教育展開事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校体育係 電話番号：058-272-1111 (内 3590)

E-mail：c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

4,217 千円 (前年度予算額：4,217 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 4,217 | 4,217 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 4,217 | 4,217 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 決定額 | 4,217 | 4,217 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

2021 年に向けて、県内の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校でオリンピック・パラリンピック教育を実施し、大会への興味・関心やスポーツへの関心を高めるとともに大会への取組みをきっかけとして規範意識の涵養、国際・異文化の理解、共生社会への理解等多面的な教育的価値をもつオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを推進する。

(2) 事業内容

- ① 推進指定校を決定する。
- ② 推進校担当者が参加し、コーディネーターによる地域セミナーを実施する。
- ③ 各推進指定校の特徴と地域の特性を生かしたオリンピック・パラリンピック教育を実践する。
- ④ 各推進指定校から提出された報告書を岐阜県の実践事例集としてまとめ、県内のすべての公立小・中学校・義務教育学校・高等学校へ配布する。
- ⑤ 県内の小中高等学校に実践の成果を周知するため、各推進指定校の実践報告会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国10/10（県負担なし）

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|----------------|
| 報償費 | 1,553 | 講師謝金 |
| 旅費 | 848 | 検討委員会及び派遣旅費 |
| 借損料 | 500 | |
| 需用費 | 1,228 | 消耗品費、会議費、印刷製本費 |
| 役務費 | 88 | 郵送料 |
| 合計 | 4,217 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成
目標4 優れた才能や個性を伸ばす教育の推進

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

2021年に向けて、県内の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校でオリンピック・パラリンピック教育を実施し、大会への興味・関心やスポーツへの関心を高めるとともに大会への取組みをきっかけとして規範意識の涵養、国際・異文化の理解、共生社会への理解等多面的な教育的価値を持つオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの推進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業 開始前 | 指標の推移 | | 現在値 <small>(前々年度末時点)</small> | 目 標 | 達成率 |
|-------|--------------|-------------|-------------|---------------------------------|-------------|-------|
| 推進指定校 | 0校 (～H28) | 7校 (H29) | 7校 (H30) | 21校 (R1) | 41校 (R3) | 45.2% |

○指標を設定することができない場合の理由

| |
|--|
| |
|--|

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

(1) 推進指定校において、オリンピック・パラリンピック選手の講演会を行い、選手の経験談をもとに、大会への興味関心やスポーツへの関心を高めた。

(2) 推進指定校の教科や行事の中で、オリンピック・パラリンピックを通じた学びとして規範意識の涵養、国際・異文化の理解、共生社会への理解等を生徒に学ばせた。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

生徒が、大会への興味・関心やスポーツへの関心を高めるとともに規範意識の涵養、国際・異文化の理解、共生社会への理解等を学ぶことにより、国際的な視野を持って活躍できる人材の育成に繋がる

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い | |
| (評価) ○ | 東京 2020 大会（オリンピック・パラリンピック）を 1 年後に控え、国をあげて、教育的価値の高いオリンピック・パラリンピック教育に取り組む中で、県内の児童生徒に学ばせる必要がある。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) ○ | オリンピック・パラリンピック教育を行うことで、大会への興味関心やスポーツへの関心を高めるとともに、事業への取組をきっかけとして、規範意識の涵養、国際・異文化の理解、共生社会への理解等多面的な教育価値をもたらすことができる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある | |
| (評価) ○ | H29 年度から R1 年度の指定校 24 校を R2 年度以降にオリンピック・パラリンピック教育を行う学校のモデル校として指導・助言を行っていただくことで、効率化が図られる。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・推進指定校からの情報発信に伴い、より多くの学校でオリンピック・パラリンピック教育を実践する。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・県内の多くの学校において（R3：41校）、オリンピック・パラリンピック教育を実施する中で、大会への興味関心やスポーツへの関心を高めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化の理解、共生社会への理解等多面的な教育価値を高め、多面的な人材育成を図る。 |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|--|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせ実施する理由や期待する効果 など | |